MLISM株式会社

1．会社状況

(本社)所在地	千葉県柏市若柴178番地4 柏の葉キャンパス148街区2 ショップ&オフィス棟6F			代表者名	木之下滉大郎
電話/FAX番号			URL	https://www.mlism.com/	
設立年月	2024年12月		資本金(百万円)	3百万円	
売上高(百万円)	27百万円		従業員(名)	5	
事業内容	AI/アルゴリズムの研究・開発 ソフトウェアライセンスの販売、提供				
主要製品	YomiToku				
東葛テクノプラザ連絡先	役職名	代表取締役	氏名	木之下滉大郎	電話番号
	E-mail	kotaro.kinoshita@mlism.com	入居室	608	

2. 東葛テクノプラザにおける研究・事業開発概要

主力製品「YomiToku-Pro」を中心に、紙文書・PDF・帳票等の非構造データを対象とした文書画像解析技術の研究開発を行っている。単純に文字を読み取るOCRにとどまらず、文字認識に加えて、文書内の見出し・本文・図表・表・注記等のレイアウト解析、表構造の認識、読み順の推定などを組み合わせ、文書全体の構造を理解し、業務システムや生成AIで利用可能な構造化データへ変換することを目的としている。

特に、日本語文書に特有の縦書き・横書きの混在、複雑な段組み、手書き文字、帳票固有のレイアウト、罫線のない表や結合セルなど、一般的なOCRでは処理が難しい対象に重点を置いて研究開発を進めている。また、実際の業務文書を対象とした認識精度の向上に加え、AIモデルの軽量化・高速化、CPU・GPU環境への最適化、業務固有データへの適応など、研究成果を実際の企業システムへ導入・運用するための技術開発にも取り組んでいる。

3. コア技術（保有技術等）

コア技術は、日本語文書に特化したDocument Understanding（文書理解）技術である。文字領域検出・文字認識（OCR）、文書レイアウト解析、表構造認識、読み順推定、情報抽出・構造化などの技術を組み合わせ、文書に含まれる情報を業務システムやAIが利用可能なデータとして復元・変換する。特に、縦書き・横書きの混在、手書き文字、複雑な帳票、セル結合や罫線の少ない表など、日本語文書に特有の解析が難しい対象への対応を強みとしている。

また、単に高精度なAIモデルを開発するだけでなく、大量文書を継続的に処理する実運用を見据えた軽量化・高速化、GPU・CPU環境への最適化、モデルサービング、業務固有データへの適応、前処理・後処理までを含めた一連の技術開発を行っている。AIモデルの独自学習、学習データ生成・学習パイプラインの構築から、情報抽出・構造化、システムへの組み込み・運用まで、コアとなるAI技術の研究開発から実際の業務利用・サービス運用までを一貫して設計・開発できることを技術的な強みとしている。

4. 事業展開

研究成果を文書解析エンジン**「YomiToku」として無償公開し、その技術を基盤として、企業利用向けの商用製品「YomiToku-Pro」**を展開している。公開版を通じて技術の普及や利用者層の拡大を図りながら、高度な機能や商用利用、オンプレミス・閉域環境への導入、OEM組み込み、個別開発などを有償サービスとして提供する事業モデルを採用している。

今後は、従来のOCR・レイアウト解析・表構造解析などの文書解析技術を基盤に、VLM（Vision Language Model）を活用した文書理解技術へ拡張し、より高度な情報抽出・構造化・意味理解を可能にする。また、これらの技術を活用し、RAG・生成AI連携、文書検索、データベース化、業務自動化など、文書解析を起点とした応用サービス・プロダクトの展開を進めていく。

以下のURLにて公開、お試しできます。
・YomiToku: https://github.com/kotaro-kinoshita/yomitoku
・YomiToku Studio: https://yomitoku-studio.mlism.com/